



情報(第8号)

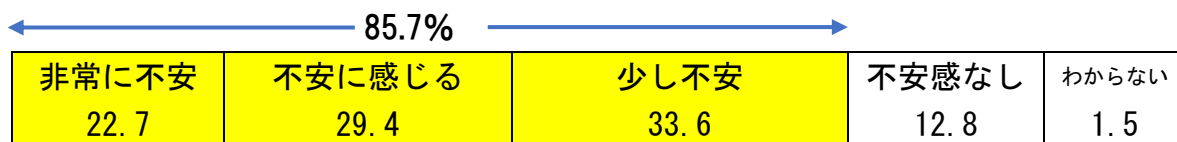


昭 33 年生、錦町出身
趣味：旅行、美食

高い年金受給の方法

1 老後の保障について

今回は、老後に対する考えなどから年金を考えてみることにします。自分自身の老後生活についての不安の有無は次のとおり。実に 85.7% が「不安感あり」となっており、全員が不安と言っている状況です。親や他人の老後を見るにつけなのか、自身が未体験だからなのかそこはいろいろでしょう。



2 不安感ありの理由

不安感ありとした方の具体的な内容を 3 項目挙げると、「公的年金だけでは不十分」が 80.9% と、こちらも圧倒的多数です（複数回答）。

公的年金だけでは不十分 80.9

日常生活に支障が出る 57.2

自助努力による準備が不足する 38.1

3 老後の最低日常生活費

夫婦二人の老後生活を送る上で必要と考えられる最低日常生活費（平均）をみると、22.0 万円であり、経済的にゆとりある老後生活を送るための費用（平均）は、12.8 万円となっています。

いつも目刺しと漬物だけ食ってりゃあそれほどでもないんでしょうが、長くは続きません。ちょっと美味しいもんを食って、旅行くらいしてみたいもんですなあ。そういう気分がよくわかります。拙者も年金予備軍ですから。

ゆとり費用 12.8

最低日常生活費 22.0

(1 から 3 まで生命保険文化センター：平成 28 年度生活保障に関する調査)

4 頼みの綱！年金は？

最近の横綱は、とかく問題があるようですが、年金は頼みの綱です。最後の砦といってもよいでしょう。だって、貯蓄は尽きますけど、年金は尽きませんもの。体

力低下、収入減少、知人・友人も少なくなるのですから、すぎるものは年金しかない！そこで、どれくらい受給できるのでしょうか。

夫が40年間平均的な給与で厚生年金保険に加入、妻は40年間ずっと専業主婦だった世帯をモデル年金としています。実平均は、未加入期間や保険料の未納期間などがあることから、モデル年金に達していません。

(厚生労働省のモデル年金)		(厚生年金保険と国民年金の平均受給額を夫婦とする)	
夫 老齢厚生年金 老齢基礎年金 156 千円	妻 老齢基礎年金 65 千円	夫 老齢厚生年金 老齢基礎年金 146 千円	妻 老齢基礎年金 57 千円
(合計額 221 千円)		(合計額 203 千円)	

5 高い年金受給のために

図のとおり、公的年金（平均額）で最低日常生活費をほぼ充足できていますが、ゆとりある生活には、なお12.7万円不足しています。

年金受給額を高くするためには、若い時がすべて。年金受給の繰下げまで含めると65歳までは打つ手がありますが、それとて60歳までには準備すべきです。

まず、公的年金（国民年金・厚生年金保険）にきちんと加入・納付すること、次に、追納・付加保険料納付・国民年金への任意加入・準公的年金加入（国民年金基金・iDeCo）、私的年金加入、そして年金受給繰下げなどの対策があります（公的年金・準公的年金では、保険料納付をすると全額所得控除の利点があります）。

紙幅の関係上多く記載できませんが、前記単語がよくわからない、知らない方は、「老後の備えなし」とお伝えします。

まず、自己の年金記録を確認しましょう。そして、今から打てる対策を検討し、対応すればより高い年金受給に結びつけることができます。

年金『額』に注目しがちです。しかし、実際に年金受給者の方々と接触してきた体験では、年金には、『精神的』な価値があります。若い頃に何ら対策をせず（実際そういう方が多い）、しまった！と気付く。そうすると、後悔が残り、備えをされた方は「今は幸せ」となります。精神状態がプラスなのか、マイナスなのかは老後生活にとっても大きな影響を与えるのです。

豊かな老後とは、精神的に安定したものであるといえます。

高い年金受給のためのご相談や企業内研修を承っております。個人の年金相談は、予約制とさせていただきます。ご相談にあたっては、相談者の年金記録をご持参ください。

745-0031 周南市銀南街 21 銀南ビル 2 階
銀座社会保険労務士法人 代表社員 吉国 智彦
TEL 0834-34-0567 FAX 0834-34-0565
E-mail:ginzasyakaihoken@iaa.itkeeper.ne.jp